

2024年5月21日
株式会社にしけい

株式会社アジラと AI 警備システムの分野で業務提携

弊社は、株式会社アジラ（本社：東京都町田市田中町一丁目 4-2 以下「アジラ」）が開発する世界トップクラスの『行動認識 AI』を搭載した AI 警備システム「AI Security asilla（以下、ajilla）」の取り扱いに関し、業務提携契約を結びましたことをお知らせします。



弊社は創立以来「誠実・奉仕・信頼」をモットーに、より質の高い警備をご提供するため、不断の努力を重ねて参りました。日々の技術革新によってもたらされる新たなソリューションをセキュリティサービスの質的向上につなげていくことは弊社の使命であると考えます。

この度のアジラ様との業務提携により、弊社はもとより警備業界全体が直面している警備技術の向上と人材不足という課題に対する取り組みへの大きなステップになることを期待しております。

弊社はこれからも新技術の活用をアジラ様とともに構築し、「安全・安心な社会」の実現に向け、全社をあげて、より一層の努力を重ねて参る所存です。

詳細は下記アジラ様公式 web サイトもご確認ください。

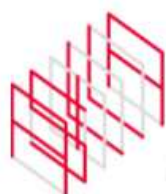
公式 web サイト：<https://jp.asilla.com/>

【この件に関する問合せ先】

株式会社にしけい
営業本部 営業企画部
連絡先：092-281-8505

AIを社会実装することで「安心3.0」の
世界を提唱するアジラ、お客さまの笑顔
を守り続けるにしけいと業務提携を締結

業務提携締結



asilla



にしけい

この度両社で取り交わした業務提携では、使命感をまっとうするための不断の努力や創意工夫を強みとしたにしけいが、アジラが開発する世界トップクラスの『行動認識AI』を搭載したAI警備システム「AI Security asilla (以下、asilla)」を、警備業務を受託している施設へ導入することで警備効率と警備品質の向上を通じて施設の利用者へ今以上の安心安全を提供し、警備業界全体で乗り越えるべき課題解決を共に目指します。

業務提携概要

警備効率と警備品質の向上

警備現場へのAIの導入による警備の強化

業務提携契約締結にあたってのコメント

- 株式会社アジラ 代表取締役CEO 兼 COO 尾上 剛

九州を代表する警備会社であるにしけい様は、警備業界が抱えている最大の課題である警備効率や警備員の人材不足といった問題解決へも積極的に取り組んでいらっしゃる企業だと認識しております。

これらの課題解決へのアプローチに弊社のプロダクト「AI Security asilla」を有効に活用できるのではないかとご興味をお持ち頂き、この度の業務提携に至りましたこと、誠に幸甚の極みでございます。

にしけい様は地域密着型の経営で、通常の警備業務だけではなく地域の子供達が安心して伸び伸びと暮らすために子供向けの安全教室を開いたり、先生向けの防犯講座を開催したりするなど未来を担う子供達を護る活動にも非常に熱心に取り組んでいらっしゃいます。

弊社も今回の業務提携を通じて、警備業界の課題解決や子供達の安心のために今後一層の安心して過ごせる社会の創立に貢献して参る所存です。

株式会社アジラ

代表者：代表取締役CEO 兼 COO 尾上剛

所在地：東京都町田市中町一丁目4-2

事業内容：AI警備システム『AI Security asilla』開発と販売

公式webサイト：<https://jp.asilla.com/>

国内導入実績No.1のAI警備システム『AI Security asilla』について



施設管理/警備向け
異常検知AIツール

asilla | AI SECURITY

国内導入数No.1!

2024年1月現在(自社調べ)

『asilla』は、世界トップクラスの行動認識技術を基にしたAI警備システムです。既存のカメラをAI化し、異常行動や不審行動を検出したときのみ、瞬時に映像を通知します。映像をモニタリングする警備員の業務を軽減でき、見逃しや見落としも無くすることができます。

『asilla』は様々なものや様々な行動が検知対象です。
検知対象をAIが発見すると検知から1秒以内にモニターやメールなど、設定された通知先に発報いたします。

『asilla』は以下の特徴があります

特許取得の「違和感検知」で事件事故の予兆検知

各カメラにおける行動をAIが自律学習し、通常から逸脱した動きを「違和感」として検知。予期しない危険行動を即時通知することで、事件事故の未然防止に繋がります。

AIの眼で24時間365日モニタリング

数百台規模のカメラ映像もAIが常に映像をモニタリング。異常が起きた際には自動で検知、即時通知し、人の眼だけでは捉えきれない些細な動きも見逃しません。

既設カメラを利用可能、サーバー1台で最大50台分の映像を処理

既設のカメラがそのまま利用可能。初期コストの負担が0。エンタープライズプランでは、サーバー1台で最大50台分のカメラ映像を解析でき、大規模な施設では運用コストも安価です。

セキュアな環境で利用可能

ローカルで完結するネットワーク構成により外部へ映像流出するリスクがありません。

AI警備システム『asilla』は、今後もさらなるアップデートを予定しています。

『asilla』についてのお問合せ

<https://jp.asilla.com/contacts>

『asilla』で検知可能な行動一覧



喧嘩・暴力



タム口・長時間滞留



不法侵入



自転車・スケボー
乗り入れ検知



転倒・ふらつき検知



白杖・車椅子検知



人数カウント
混雑状況検知



エスカレーター
違和感検知



不審者・不審行動検知



飛び込み・飛び降り検知

実装予定の機能

火事・炎検知

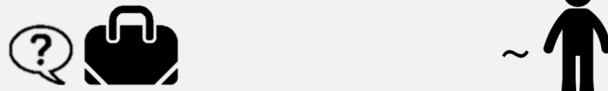


警備上、または施設管理上で大きな脅威になる火事を検知します。

火事を検知するためのセンサーなどの設置は消防法によって義務付けられているところではありますが、屋外をはじめとしたセンサーの検知範囲外での火災を検知することは難しい現状があります。

消防法で定められたエリア以外へセンサーを取り付け運用するコストと比べると、既存の防犯カメラで火災を検知の方がコスト的にも有利に働きます。

不審物検索機能



近年交通インフラや、公共施設などで頻発している不審物による交通遅延や施設の封鎖などが報道などで度々取り上げられる問題になっています。

これらの原因となっている置き去りにされた荷物などのいわゆる「不審物」を自動検知するアップデートが予定されています。

このアップデートにより期待出来ることとして、単純な忘れ物だった場合に持ち主を特定してすぐに返還業務へ移れることや、脅威のある不審物を早期に排除することが出来るため施設やインフラをご利用のお客様への影響が最小限に抑えられることなどが挙げられます。